



学校における熱中症予防対策の取り組みの状況は



公明党 天笠 哲史

●学校における熱中症対策について

●各学校に設置されている冷凍庫の使用状況は。また、深部体温低下に有効な製氷機の設置を検討しないか。

●運動などによる捻挫、打撲や発熱時の氷嚢などで有効活用されている。また、飲料用の氷は衛生管理が難しいことから、設置は考えていない。

●高齢者支援について

●綾瀬市公園愛護活動助成要綱を見直さないか。また、市ホームページから愛護会の



10月19日、「親子リサイクル教室」が行われました<綾瀬市リサイクルプラザにて>

●帯状疱疹ワクチンの定期接種に当たり、対象年齢への対応や市の考えは。

●市では令和6年度から50歳以上を対象に助成事業を実施しているが、国は定期予防接種の対象を65歳とする案を示しており、整合性を勘案し、制度構築に努めていく。



市の鳥「カワセミ」



子育て世帯訪問支援事業の進捗と利用対象者の想定は



公明党 内山 恵子

●持続可能な都市を目指しての若者・子育て支援について

●食事準備や掃除、子どもの送迎などのサポートを行う、子育て世帯訪問支援事業への取り組み状況は。

●孤立しがちな育児に訪問支援員を入れることで社会との接点ができ、社会で子育てする環境を整備するための事業で、子育て施策の充実を図るため、令和7年度の実施に向けて調整を進めている。

●子育て世帯訪問支援事業の利用対象者は、どのような方を想定しているのか。

●家事支援のアンケート調査では、支援を必要とする家庭以外にも家事支援を利用したいとの意見が見受けられ



制度のはざまにいる市民への支援を充実すべきでは



あやせ未来会議 畑井 陽子

●物価高騰・低所得者支援について

●物価高騰下において、制度のはざまにいる、ひとり親世帯に対するさらなる支援の充実を考えないか。

●令和6年11月に児童扶養手当の所得制限の見直し、多子加算の増額などの拡充が行われることから、本市独自制度のひとり親家庭等医療費助成事業も、国の見直しに合わせ所得制限額を改定するなどの支援に努めていく。

●不登校・いじめ・インクル

●シブ教育について

●ことばの教室に通級ができないなどの課題に対応するため、コミュニティ・スクールなどには地域の方も参加しているの、地域資源の活用を検討しないか。

●ことばの教室担当教員の負担や、他校通級の児童を送迎する保護者の負担が課題であるが、地域資源は活用せず、保護者の都合を考慮したうえで学校と指導時間を調整するなどの工夫をしていく。

●市長が考える定住化促進とは



●市長は基地のある綾瀬市で、どのように定住促進を進めていくのか。

●地域公共交通の利便性向上、地域経済の活性化、子育て政策および教育、防災・危機管理・生活インフラや福祉サービスを将来的に維持・改善し本市の魅力向上を図り、定住人口増加につなげる。



有権者の投票行動の前進と公正な選挙運動を望む



志政あやせ 武藤 俊宏

●綾瀬市長選挙の状況について

●期日前投票所である市役所敷地内で、7月3日に選挙カーを乗り入れて選挙運動を行い、公職選挙法第166条第1号に該当するとして、対象の候補者陣営が注意を受けたが、6日にも同様の行為で再び注意を受けたと認識している。その状況と選挙管理委員会の対応は。

●市役所敷地内で選挙運動をしているとの連絡を受け、現地を確認したところ、候補者が選挙カーの前で街頭演説を行っていたため、市役所敷地内で選挙運動をしないよう求めたが、選挙運動が継続される状況であった。

●市役所南側交差点の利

●用目的を害することがないよう、選挙期間中は車両進入の防止策を考えないか。

●市役所南側交差点は、歩行者や自転車通学の学生も多く、通行に支障が出る車止めなどの設置は考えていないが、今後の選挙に向けて、車両進入防止策を検討していく。

●光綾公園の基本構想と課題について

●施設の有料化に当たり、経費が大きく膨らんでいるが、管理運営に関する支出のうち、年間の人件費は。

●管理棟とローズガーデンの人件費で約5950万円、一般管理費の約300万円と合わせ、約6250万円になると見込んでいる。

一般質問の用語説明

3ページ

(※)PCB：ポリ塩化ビフェニルの略称。

人工的に作られた主に油状の化学物質のことで、現在は製造・輸入ともに禁止されている。

公職選挙法による禁止行為

◆議員の寄付禁止
◆議員への寄付勧誘・要求の禁止

議員が市民に対し、お金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。
また、市民が議員に対し寄付を求めることも禁止されています。

